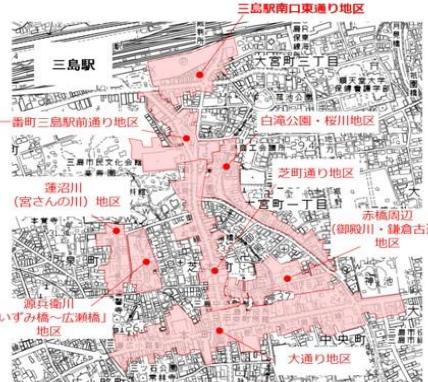


令和4年度進捗評価シート
三島市歴史的風致維持向上計画（平成28年10月3日認定）
(最終変更令和3年1月25日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1) 1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) 1 まち並みと景観形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) 1 歴史的風致形成建造物保全整備事業 2 史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業 3 三島大祭り補助事業 4 三島囃子保存会補助事業 5 地域文化財啓発補助事業 6 景観重点整備地区内景観形成補助事業 7 案内看板統一化事業 8 ふるさとガイドの会補助事業	3 4 5 6 7 8 9 10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) 1 文化財の保存・活用を行うための施設 2 文化財の防災 3 文化財の保存・活用の普及・啓発	11 12 13
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 1 三島市プロモーション動画 クールジャパン奨励賞 1 ほか 15件	14
⑥その他(効果等)(様式1-6) 1 観光交流客	15
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	16

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係る都市計画課と文化財課が担当し、各事業担当課と府内の横断的な連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。</p> <p>●三島市歴史まちづくり協議会は、計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議及び計画の進捗評価を行う。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●事務局である都市計画課と文化財課の連携の下、関連事業の主な担当部署である商工観光課との打合せを行った。</p> <p>●令和4年度歴史まちづくり協議会を開催(書面開催)し、歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価等について協議するとともに、文化財保護審議委員会を開催した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>■令和4年度三島市歴史まちづくり協議会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和4年5月25日（火） 協議事項 ・令和3年度三島市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について</p>		
<p>■令和4年度三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>第1回 令和4年7月22日（金） 報告事項 ・高梨勝瀬の絵画2点の寄贈について ・三島市文化財保存活用地域計画の方針について ・山中城跡災害復旧事業及び保存活用計画の進捗状況について</p> <p>第2回 令和5年2月28日（火） 審議事項 ・市指定文化財 河合家所蔵 三嶋暦及び同版本並びに関係文書の員数の変更等について 報告事項 ・三島市文化財保存活用地域計画作成の経過について</p>		
 <p>▲文化財保護審議委員会の様子</p>		

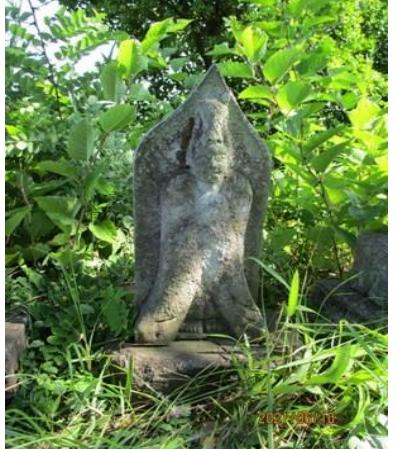
項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
まち並みと景観形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好的な景観の形成に関する施策との連携として、都市計画法に基づき建築物の高さ制限について検討する。 ● 三島市景観計画等との連携として、三島市景観形成基本計画に基づく景観重点整備地区の候補地について、三島市景観条例に基づき順次追加指定を進めて行く。 ● 三島市屋外広告物条例に基づく屋外広告物誘導整備地区の追加指定を行うとともに、同条例の周知に取り組む。 	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>● 三島大社の別当寺であった愛染院跡周辺を、「三島市まちなかリノベーション推進計画」で位置付けている「エリアを楽しむコンテンツおよび休憩スペースづくり」や「道路空間のリノベーション」の戦略に基づき、回遊性の向上やまちなかの賑わい創出を図るため、令和4年度に地元住民、関係団体及び審議会委員等をメンバーにワークショップを開催して愛染院跡周辺整備活用計画(案)を作成した。令和5年度に同計画案を公表するとともに、市民や各種団体等にヒアリング及び報告を行い、令和6年度以降の設計・環境整備に向けた準備を進めていく。</p> <p>● 令和3年度より、一番町まちつくり委員会等と検討を重ねてきた景観重点整備地区「三島駅南口東通り地区」を指定した。</p> <p>◆ 事業の効果</p> <p>愛染院跡周辺整備活用計画(案)を検討する中で、愛染院跡周辺の目指すべき方向性が定まりつつあり、地区の住民や関係者等の景観形成に係る意識が高まっている。</p> <p>景観重点整備地区「三島駅南口東通り地区」の指定並びに景観整備方針及び地区景観形成基準の策定により、三島の顔に相応しいまち並み創出に繋がる。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
  		
<p>▲愛染院跡周辺環境整備のイメージ</p> <p>▲ワークショップの様子</p>		
 		
<p>▲「景観重点整備地区「三島駅南口東通り地区」のイメージ</p>		
<p>指定済みの景観重点整備地区(8地区)</p> <p>▲景観重点整備地区案内図</p> <p>景観重点整備地区(8地区)とは 特に景観形成を図る必要があると認められる地区。景観形成の目標及び基準(建築物の色彩や屋外広告物の掲出基準等)を定めています。</p>		

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	重点区域内に点在している歴史的建造物(三島大社、楽寿館、梅御殿、三島暦師の館、懐古堂ムラカミ屋等)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、歴史的風致形成建造物の外壁及び屋根の修繕等を行った。</p> <p>○令和4年度実績 茶処・山田園の外壁補修:159千円補助</p> <p>◆事業の効果 歴史的風致形成建造物の維持保全を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物については、適切な維持保全が図られるよう、引き続き、補修及び修復を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
<p>茶処・山田園の外壁補修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階・2階モルタル破損部分の修復、補修、塗装 ・2階タイルの亀裂及び破損部分の修復、補修 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲施工後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲施工後</p> </div> </div>		

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和7年度	
支援事業名	史跡等保存活用等策定事業	
計画に記載している内容	山中城跡の調査及び史跡保存活用計画を策定するとともに、計画に基づき、復元整備などを行う。	
<u>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</u>		
<p>●令和元年10月の台風19号及び令和3年7月の長雨で被災した8箇所の復旧工事及び今後の災害対策としての排水路設置工事を進めている。令和4年度は災害復旧工事及び排水路設置工事のための測量・設計委託を行った。</p> <p>●史跡山中城跡保存活用計画については、排水路計画を盛り込むこととしたため、1年先送りとなつたが、令和4年3月に作成を完了した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	災害に強い史跡とするため、文化庁及び静岡県文化財課からの助言等を受けながら、災害復旧事業を進めていく。また、保存活用計画にしたがって今後の保存、活用、整備を進めていく。	
<u>状況を示す写真や資料等</u>		
<p>史跡山中城跡全図 災害復旧（R1 台風19号被災）実施地点</p> <p>○は令和元年被災箇所 赤字は令和3年再被災箇所</p> <p>1. 三ノ丸西堀 2. 西ノ丸南堀 (工事実施中に被災) 3. 西ノ丸西堀南端 4. 西ノ丸北堀 5. 二ノ丸西堀北端 6. 二ノ丸西堀南端 7. 田尻ノ池上側 A, B 8. 田尻ノ池土砂流入 (赤字は修復完了後、再被災)</p> <p>国指定史跡範囲 周知の道路範囲</p>		
<p>史跡山中城跡保存活用計画策定事業検討委員会の開催 3回 令和4年8月18日、10月28日、令和5年2月7日</p>		

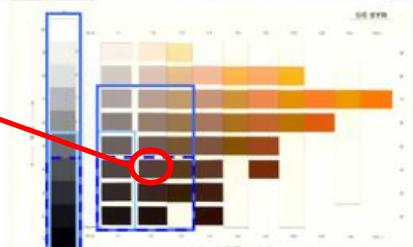
項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
三嶋大祭り補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和50年度～令和7年度	
支援事業名	新型コロナウイルス臨時交付金	
計画に記載している内容	今後も三嶋大祭りを継続的に開催するとともに、更なる魅力の向上及び情報発信力の向上を図り、保存及び継承に繋げていくため、三嶋大祭りの運営費等の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>◆事業概要</p> <p>令和4年度は、露天商の出店数やパレード参加人数などの一部制限や、道路の片側通行の実施、臨時救護所の増設など、感染症・熱中症対策を徹底したうえで、3年ぶりに開催した。特に8月16日の「頼朝公旗挙げ行列」では、放送中の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』に出演していた大泉洋さんら4名の俳優陣を招致したことにより、大きな賑わいをもたらした。</p> <p>◆事業効果</p> <p>3日間で約54万人の来場者数を記録した。また、例年通りにしゃぎり等を実施することで、伝統芸能の次世代への継承に貢献した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	賑わいの創出による市内経済の活性化はもちろん、しゃぎりをはじめとした伝統文化を次世代へ継承していくために、引き続き支援を実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
▲三嶋大祭りの様子(頼朝公旗挙げ行列)		

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
三島囃子保存会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和55年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	静岡県指定の無形民俗文化財である三島囃子の保存・継承のために、三島囃子保存会の活動費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●令和4年度は三島囃子保存会の活動に必要な祭礼用長胴太鼓の修繕費用に対して補助を行った。</p> <p>●活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習、子どもしやぎり指導を4～8月を中心に実施 ・三嶋大祭り(8月)、天神社祭典(9月)での演奏 <p>◆事業の効果</p> <p>本事業は静岡県の民俗文化財に指定された当時の演奏曲、曲調、演奏技術を後世に残すことを第一としており、技量を維持するための練習を継続して実施している。</p> <p>なお、三島囃子の一部であるしやぎりは三嶋大祭りには欠かせないもので、晴れ舞台の祭り当日に向け、町内ごとに老若男女が集まって演奏練習を行うことで、地域の絆づくりに寄与している。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和4年度は感染症対策を行ったうえで三嶋大祭りが行われるなど活動の機会が戻りつつある。将来の担い手となる子どもたちへの普及活動は必要不可欠であるため、今後も補助事業を継続していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
		

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
地域文化財啓発補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
<input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	民俗文化財の伝承のために、歴史研究を行う市民団体と三島市郷土資料館と行政が連携し、市内の民俗文化財に関する調査を実施し、映像や報告書としてとりまとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●「石造物調査の会」を年間8回実施し、郷土資料館ボランティアと協働で中郷地域のうち、御園・松本地区の石造物調査を進めた。</p> <p>●石造物調査が終了している地区を対象に、出前講座「身近な文化財について知ろう」を開催した。</p> <p>2/15 多呂・北沢地区 参加者42人、2/17 中島地区 参加者6人、2/21 大場地区 参加者3人</p> <p>◆事業の効果 石造物調査により郷土学習の基となる情報の集積を進めることができた。また、地域での出前講座により調査結果を地域に還元することができた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回を重ねることで、ボランティアの練度が上がり、基本的な調査を自主的に実施出来るようになつたため、さらに経験を重ねていく。また調査は専門的な知識が必要になることから、専門家の意見等を聞きながら、事業を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>▲六地蔵(多呂 田種寺)</p>			
 <p>▲馬頭観音(夏梅木)</p>			
 <p>▲石造物調査の様子</p>			

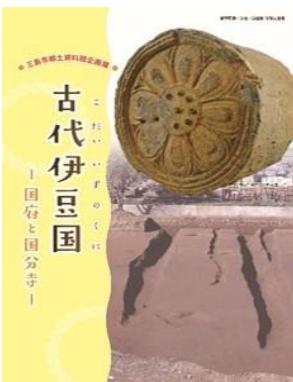
進捗評価シート

(様式1-3)

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
景観重点整備地区内景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成12年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	三島市景観重点整備地区において、建築物行為の制限に適合させるための工費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>● 良好的な景観形成のため、景観条例・景観計画に基づく景観重点整備地区内の修繕等について補助を行った。</p> <p>○ 令和4年度実績：「白滝公園・桜川地区」内の建築物の外観の変更：2件(2,000千円補助) 「白滝公園・桜川地区」内の建築物の新築：1件(1,000千円補助) 「源兵衛川(いすみ橋～広瀬橋)地区」内の建築物の外観の変更：1件(544千円補助)</p> <p>◆ 事業の効果 行為の制限に適合した建築や、修繕などが促進され、景観重点整備地区内の価値と魅力の向上を図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	当該補助事業の周知を図るために、広報みしまでの周知をするとともに、対象となる世帯に資料を配布する。	
状況を示す写真や資料等		
<p>【白滝公園・桜川地区】</p>    <p>▲外壁塗装・改修後</p>		
<p>【新築】</p>   <p>▲新築</p>		

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
案内看板統一化事業		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	歴史的な建造物等を案内する既存の案内看板について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など案内看板の整備を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●静岡県・三島市・清水町の「水の郷構想」に基づき、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用した事業を実施。 令和元年度に策定した境川・清住緑地から水の苑緑地の間で歴史的建造物等を含んだウォーキングコース上に案内サイン等を整備した。</p> <p>●事業の効果 国内外の利用者への案内機能の向上及び充実が図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>▼ウォーキングコース</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>三島広小路駅</p> <p>千貫樋</p> <p>秋葉神社</p> <p>境川・清住緑地</p> <p>水の苑緑地</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>【ウォーキングルート上に設置した案内サイン】</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>▲案内看板:13箇所</p> <p>◀路面標示サイン:7箇所</p>		

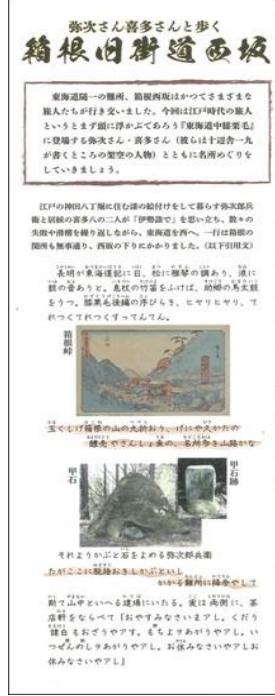
項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
三島市ふるさとガイドの会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成3年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市への来訪者に、市の歴史や人々の伝統的な活動についてボランティアで案内する「三島市ふるさとガイドの会」について、ボランティアガイド養成のための費用を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<ul style="list-style-type: none"> ●三島市ふるさとガイドの会に対し、補助金を支出した。 ●活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に対するおもてなしガイドの実施 ・「ふるさとみしま歴史探訪」をはじめとする各種イベントの企画及び実施 ・静岡県の委託事業「県民の日」「富士山の日」の実施 ・案内人数1,893人(R5.1.1現在) ・ガイド養成講座(隔年)R4は実施なし ◆事業の効果 <ul style="list-style-type: none"> 会員総数(60名/R4.4.1現在) 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ボランティアガイドの高齢化が進行。事業継承、担い手育成及び人員確保のため、隔年でボランティアガイド養成講座を開催していく。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>▲三島市ふるさとガイドの会活動の様子 「新春開運初午ツアーア」 (令和5年2月11日)</p>		

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況		
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容		●文化財等を保存し、情報発信をしている三島市郷土資料館を筆頭に、多くの施設が、来訪者の歴史学習、史跡や文化に対する意識の醸成に寄与する機能を担っており、継続的な事業実施を図る。 ●案内板や誘導サインの表示の統一化と多言語化を行うとともに、情報発信をするガイダンス施設の整備を図る。 ●国指定文化財の山中城跡については、経年劣化という課題を抱えていることから、山中城跡の調査及び保存・活用を図る保存活用計画の策定を行うとともに、計画に基づき復元整備を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>●三島市郷土資料館事業</p> <p>1 企画展</p> <p>R4/4/23～6/19 「三嶋暦 武士の世の暦」 9,779人 R4/7/16～10/2 富士・沼津・三島3市共同企画展 「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」 10,791人 (富士会場 10/8～11/27 沼津会場 12/10～1/29 3会場合計16,471人) R4/10/15～R5/1/29 「古代伊豆国—国府と国分寺—」16,443人 R5/2/11～5/28 「三島ゆかりの文化人たち」 2,237人(～2/28)</p> <p>2 教室・講座</p> <p>(1)郷土教室 5月～翌3月までの主に土・日曜日、月1回程度 全13回 661人(～2/27) (2)ボランティア養成講座 11月～翌2月までの土・日曜日、全4回 28人 (3)その他 ボランティアスキルアップ講座 R5/2/22 講師 師岡 恒夫氏・師岡 恒平氏(表具師) 9人 出前講座「身近な文化財について知ろう」 2月、多呂・中島・大場の3地区で開催 延べ50人</p> <p>3 刊行物</p> <p>郷土資料館だより132～134号 各号1,000部 / 「三島市郷土資料館研究報告」14 180部 図録「古代伊豆国—国府と国分寺—」 600部 / 「三島宿関係史料集」12 180部</p> <p>◆事業の効果:三島の歴史・文化に興味を持つもらうとともに、地元への愛着を育む手助けができた。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	企画展「三嶋暦 武士の世の暦」や「三島ゆかりの文化人たち」では、近年実施した資料調査の成果を盛り込んだ内容としている。このように、文化財の調査、保存と活用を連動させ、市民へ文化財等を利用した学習の機会を提供していく。			
状況を示す写真や資料等				
   <p>▲図録「古代伊豆国—国府と国分寺—」</p> <p>▲企画展チラシ</p> <p>▲郷土教室の様子</p>				

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●文化財のうち有形文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害により毀損、滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図ることが求められる。</p> <p>●美術工芸品などの有形文化財は、盗難に遭わないように防犯設備設置を推奨するとともに、所有者の防犯に対する意識向上を図る。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●1月26日の文化財防火デーにあわせ、三嶋大社、楽寿館で防災訓練を実施した。佐野美術館では企画展スケジュールを考慮して年1回実施している。</p> <p>●国登録有形文化財について、指定業者による防火設備の設置状況の確認を行った。</p> <p>◆事業による効果 定期的に防災訓練を実施すること、実施に際しては実際の状況を想定し、毎回課題をもって訓練することで、防災意識が醸成された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長らく維持管理してきた建造物等は、三島市の貴重な財産であり、引き続き市内の文化財所有者に対し、防災訓練の実施を呼びかけていく。	
状況を示す写真や資料等		
 		
▲楽寿館(左)、三嶋大社(右)での放水訓練訓練		

進捗評価シート

(様式1-4)

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況		
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
文化財の保存・活用の普及・啓発				
計画に記載している内容		<ul style="list-style-type: none"> ●本市に分布する文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実を図る。 ●市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げるため、発掘調査、整備工事、建造物修理の現場説明会などを随時実施する。 ●観光ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催などにより、文化財の普及・啓発を図る。 		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>●自分の住んでいる地域の歴史や文化財を調査し、保護に努め、次世代に残す活動をしている市民団体に対して、これまでの成果をまとめることを促し、その成果をまとめた刊行物の編集アドバイス、印刷費の補助を行うことで、郷土に対する愛着心を持つ人が増えるよう働きかけている。令和4年度は1団体が活動成果をまとめ、2,000部刊行した。</p> <p>●令和4年3月の1か月間、中山城跡の維持管理費への寄附をガバメントクラウドファンディングの制度を利用して呼びかけ、全国から99人、575,580円の寄附が集まった。この試みは令和3年度で4回目となり、令和4年4月30日、寄附者限定のイベントとして普段は入れない人気の高い障子堀の中に入り、自由に記念撮影ができるイベントを実施した。</p> <p>令和4年度は寄附金の募集は行わず、次回は令和5年7～11月頃を目途に募集を行う予定。</p> <p>◆事業の効果 文化財などに対する情報を行政側からだけではなく、地域に住んでいる市民の方からも発信してもらうことで、郷土愛を深め、シックなプライドを高める効果がある。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の歴史や文化、文化財について、一番情報を持っているのはその地に住む人たちなので、これからも地域で活動している郷土史研究会等がその成果を広く他の人に情報発信できるよう提案・協力していく。			
状況を示す写真や資料等				
				
<p>▲4月30日 寄附者限定イベント</p>				
				
<p>▲パンフレット「箱根旧街道西坂」 三島市ふるさとガイドの会編集</p>				

評価対象年度		令和4年度		
報道等タイトル	年月日	掲載紙等		
三島市プロモーション動画 クールジャパン奨励賞	2022/4/2	静岡新聞		
清流保護30年 記念誌に 三島ゆうすい会	2022/4/15	静岡新聞		
三島市プロモ奨励賞 クールジャパン、湧水巡る表現 高評価	2022/4/20	伊豆日日新聞		
鎌倉殿ゆかりの三嶋大社 順朝、義時古文書展示	2022/4/20	静岡新聞		
三嶋大社の歴史 参拝方法学ぶ「子ども観光大使」認定講座始まる	2022/5/23	静岡新聞		
来園2300万人達成 来月10日に70周年式典	2022/6/22	伊豆日日新聞		
樂寿園で70周年記念式典 さらなる賑わい創出へ	2022/7/13	静岡新聞		
地域の歴史再発見 御城印	2022/8/12	静岡新聞		
旗揚げ行列 油絵で表現	2022/8/15	伊豆日日新聞		
大泉さんらの似顔絵張り出し歓迎	2022/8/16	静岡新聞		
「大泉頼朝」いざ出陣 鎌倉殿で旗揚げ行列	2022/8/17	伊豆日日新聞		
頼朝・大泉さん 三島湧く 大祭り旗揚げ行列「感無量」	2022/8/17	静岡新聞		
日本橋-三島できょうから展開 東海道巡って集めて「御宿場印」	2022/10/7	静岡新聞		
東海道の宿場巡りで觀光誘客 日本橋-三島の信金企画 12箇所で記念印	2022/10/16	伊豆日日新聞		
台湾政府職員が三島視察 清流スポットで魅力体感	2022/11/20	静岡新聞		
水の都PR動画 中国に配信	2023/2/28	静岡新聞		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
三島の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし				
状況を示す写真や資料等				
<p style="text-align: center;">三島大社の歴史 参拝方法学ぶ「子ども観光大使」認定講座始まる</p>  <p style="text-align: center;">▲静岡新聞 (令和4年5月23日)</p>				
<p style="text-align: center;">頼朝・大泉さん 三島沸く</p>  <p style="text-align: center;">▲静岡新聞 (令和4年8月17日)</p>				
<p style="text-align: center;">清流保護30年 記念誌に 三島ゆうすい会 地域への思い新た</p>  <p style="text-align: center;">▲静岡新聞 (令和4年4月15日)</p>				

		評価対象年度	令和4年度																																							
項目																																										
観光交流客																																										
計画に記載している内容	市民及び観光客に向けて多様な媒体を活用した積極的な情報発信を行うことにより、観光客の増加に繋げるとともに、市民の本市歴史的資源への認識と意識の向上に繋がり歴史的風致の維持向上が期待される。																																									
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																										
<p>●伊豆の玄関口という地勢や三島大社などの歴史資源及び文化資源に加え、街の景観向上整備や特産品の積極的なPR活動の成果として、観光交流客数は増加傾向にある。</p> <p>●令和3年度の観光交流客数は約444万人(前年度比30.69%増)、市民の住環境に対する満足度は前年比1ポイント減少した。</p> <p>※観光交流客数は、現在と同じ統計手法となった平成21年度対比で約16万人増加となっている。</p> <p>※観光交流客数の減少は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による。</p>																																										
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																									
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし																																										
状況を示す写真や資料等																																										
<table border="1"> <caption>観光交流客数等の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (人)</th> <th>住環境満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22年度</td><td>4,200,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>4,400,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>4,400,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>5,300,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>6,000,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>6,000,000</td><td>87</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>6,800,000</td><td>88</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>7,800,000</td><td>89</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>7,800,000</td><td>90</td></tr> <tr><td>R1年度</td><td>7,100,000</td><td>90</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3,500,000</td><td>89</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>4,400,000</td><td>91</td></tr> </tbody> </table>				年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)	H22年度	4,200,000	86	H23年度	4,400,000	86	H24年度	4,400,000	86	H25年度	5,300,000	86	H26年度	6,000,000	86	H27年度	6,000,000	87	H28年度	6,800,000	88	H29年度	7,800,000	89	H30年度	7,800,000	90	R1年度	7,100,000	90	R2年度	3,500,000	89	R3年度	4,400,000	91
年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)																																								
H22年度	4,200,000	86																																								
H23年度	4,400,000	86																																								
H24年度	4,400,000	86																																								
H25年度	5,300,000	86																																								
H26年度	6,000,000	86																																								
H27年度	6,000,000	87																																								
H28年度	6,800,000	88																																								
H29年度	7,800,000	89																																								
H30年度	7,800,000	90																																								
R1年度	7,100,000	90																																								
R2年度	3,500,000	89																																								
R3年度	4,400,000	91																																								
【数値参考元】 観光交流客数:「令和3年度 静岡県観光交流の動向」 住環境満足度:「令和3年度 三島市 市民意識調査 報告書」																																										

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:三島市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:令和5年4月24日(書面開催)	
(コメントの概要)	
<p>■三島大祭り補助事業</p> <p>・三島を象徴するアイデンティティのひとつである大祭りの復活は大変喜ばしい。当番町制度やこどもしやぎりなど独特な運営方法や文化の継承がなされているが、人口減用、少子高齢化や費用面などから継続が困難になることも想定される。祭り運営の見える化、体系化、課題抽出やデジタルを活用した保存、継承の仕方など更に深堀りした事業の継続を望みます。</p>	
<p>■三島囃子保存会補助事業</p> <p>・形ある文化の継承も非常に難しいが、形のない文化の継承は更に難しいものだと思います。形あるものは今の技術では復元可能化もしないが、人々の想いや情熱に基づいた文化は、ひとたび途絶えてしまうと復活が難しくなるため、文化継承の事業は継続を望みます。</p>	
<p>■案内看板統一化事業</p> <p>・ウォーキングコースの整備や案内看板の統一化は評価します。三島市内には沢山の名所旧跡が点在しています。コース設定に捕らわれない案内看板の設置も必要と考えます。目的地までの分かり易さが必須です。</p>	
<p>■文化財の防災</p> <p>・三島の貴重な財産を守る防災の取り組みは重要で引き続き実施願いたい。三島大社や樂寿館と違い三島暦師の館等は住居が立ち並ぶ中にあるので心配である。個別の有形文化財ごとに防災対策を検討実施願いたい。</p>	
<p>■文化財の保存・活用の普及・啓発ほか</p> <p>・クラウドファンディングなど資金調達の取組は、広く域内の文化財に対して浸透できるとより良い方向になるのではないかと思います。</p>	
<p>・文化財については、現在「三島市文化財保存活用地域計画」の作成を進めていただいております。大河ドラマの契機を活かした賑わい創出のほか、地域の文化財の掘り起こし、継承支援、普及啓発、資金調達など積極的に推進されておりますが、今後、これらを地域計画により持続的に進めていただきますようお願いします。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>・三島大祭り補助事業では、引き続き、三島大祭りの開催を支援していくことで、しゃぎりなどの伝統文化の次世代への継承を図っていく。</p>	
<p>・案内看板統一化事業は、より多くの人に魅力ある市のスポットを訪れてもらうため、視認性の向上や案内機能の充実を意識しつつ、新規案内看板の設置や既存看板の改修を続けていく。</p>	
<p>・クラウドファンディングは民間所有の文化財の保存活用について大きな効果を發揮するため、民間での活用を支援できるよう、情報収集に努めていく。</p>	
<p>・文化財に関する施策は、引き続き、文化財保存活用地域計画に位置付け、計画的に推進していく。</p>	